



皆様、いつもお世話になっております。時代の変わり目と思われるこの平成30年度、大きな変革のチャンスが奄美に訪れるのかもしれないませんが、皆様とともにそれを生かし、「明るい奄美市」をつくることに邁進していきたいと念願しております。

今年度いよいよ、平田浄水場からの水がおいしくなります！ 名瀬・住用において学校給食センターの運営が始まります！ 市役所新庁舎も完成へと向かいます！ 財政面は大丈夫か？など、様々な不安や心配もあるかと思いますが、議会がそれらをチェックし、皆様への説明がより良くなる行われ、安心して生活を営めるよう努力し続けます。



そうへいの議会トピックス
直近の議会での決定事項や進捗状況についてお知らせします

1 平成30年第1回定例会（3月定例会）における主な議案について

- 29年度一般会計補正予算第7号（4億8380万円の増額）⇒結果、一般会計予算総額は346億2703万円。その主な内容は、
- ①公共施設整備事業基金積立金4億1645万円、庁舎整備基金積立金2億円、ふるさと応援基金積立金1億521万円等⇒基金積立金総額は29年度末で152億円（前年度比約6億円増）
- ②ふるさと納税推進業務委託料1億6930万円：返礼品の発送等
- ③あやまる観光公園施設工事請負費8418万円：コンビネーション遊具を設置
- ④集会場の改修費4500万円：知名瀬・西仲間・土盛
- ⑤奄美農業創出緊急支援事業負担金4042万円：果樹農家にハウス整備を助成
- ⑥災害時情報提供強化事業業務委託料2000万円：住用地区のFMラジオ難聴地域解消のため
- ⑦その他、事業費確定などによる予算減額多数
- 国民健康保険事業・介護保険事業など7特別会計・企業会計の補正予算
- 米軍オスプレイの奄美大島上空・低空飛行訓練廃止の奄美市議会決議を求める陳情⇒不採択

- 核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての陳情⇒不採択
- 沖縄米軍ヘリの連続事故に抗議し、沖縄県民と奄美群島民の生命と財産を守る陳情⇒不採択
- 新年度一般会計予算338億円（前年比約20億円、6.5%増）⇒次ページにて詳しくご報告！
- 新年度国民健康保険事業特別会計予算52億円、水道事業会計予算25億円を含む、全11の特別会計等予算合計155億円（前年度比約21億円、12%減）
- ※主に国保会計の「都道府県単位化」移行による減額のため
- バリアフリー法の改正及びその円滑な施行を求める意見書⇒可決
- オスプレイの飛行訓練に関する意見書⇒可決
- 副市長の選任⇒奄美市役所前総務部長・東美佐夫氏が就任

2 議員定数の見直し、議会活性化について

内容がもりだくさんになりましたので、4ページの特集で詳しくご報告いたします！

2. 新年度 奄振 & 次期奄振

奄振交付金事業として、30年度から始まる「リーディングプロジェクト推進枠」は群馬12市町村による企画提案型で行われるもの。自治体自らの創意工夫や、他自治体・民間との連携が必要になります。今回のテーマは、民泊の推進やスポーツを生かした産業振興などが挙げられており、奄美市としての企画が楽しみです。ですが、私は市民や民間の声を聴く機会をつくるようにと要請しました。

また、31年度からの次期奄振に向けて、県の奄振総合調査や群馬12市町村による「成長戦略ビジョン改訂版」に「加



■奄美を代表する農産物加工品といえば「奄美黒糖焼酎」。昨年、奄美大島酒造協同組合の方々と議員有志で意見交換をした際、全国的に物流費が高騰する中での輸送コスト支援の要望が提起されました。奄美の大事な食文化であり、伝統行事にも欠かせない「さたげえ」を広く発信するためにも、今がキバリどきです！

工品も含めた輸送コスト支援」が初めて盛り込まれました。今後は市町村長会や市町村議会議長会が一体となった要望活動の展開や、詳細な制度設計のための行政サイドでの連携した取り組みが必要になりますし、民間や議会からも継続的に事業の必要性を発信していきたいと考えます。黒糖焼酎や黒糖・果樹を使った菓子類をはじめ、奄美の豊かな「食と農」の産業活性化につながる政策の実現を目指して参ります。

3. 地方創生 & ふるさと納税の活用

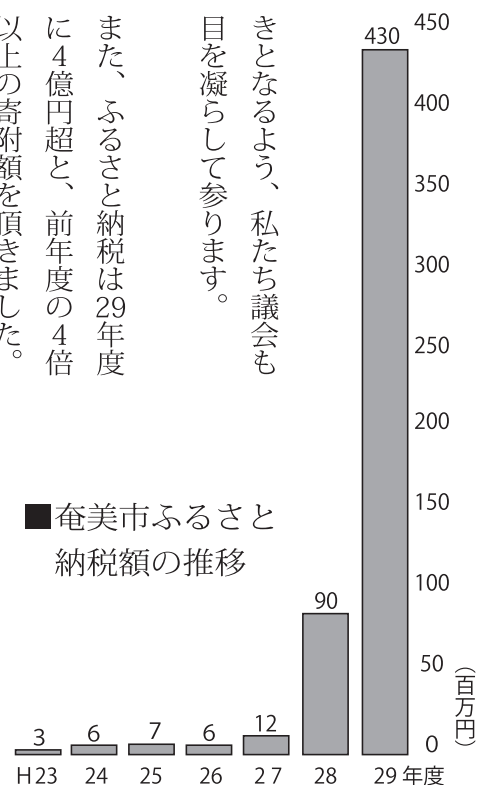
政府主導の一連の「地方創生」も平成31年度まで、あと2年といわれています。30年度も約9.6億円の予算で79事業を展開する予定。先に紹介した子ども医療費助成事業や新たに始まる「奄美くろうさぎ留学」もこの中に含まれています。

地方創生の二大目的である人口減少克服と地域経済活性化に向けて、将来につながる種

目と納税額を積み重ねてきたように、私たち議会も目を凝らして参ります。

また、ふるさと納税は29年度に4億円超と、前年度の4倍以上の寄附額を頂きました。

■奄美市ふるさと納税額の推移



返礼品として、フルーツ・旅行券・黒糖焼酎などが人気です。税控除の関係で昨年末に寄附が急増したようですが、これも奄美の知名度が向上していることの表れと、喜びとともに感謝感謝の思いです。その浄財を元に「ふるさと納税等活用事業」では、6400万円を投じて20事業を行います。先に紹介した教育のIT化整備事業なども盛り込まれています。中には「忠魂碑移設事業」という、ふるさと納税本来の趣旨に鑑みると微妙なものも。これは公費支出自体が裁判で争われたこともあり、慎重な対応を期すべき案件で、私自身は公費支出は可と考えますが、それをふるさと納税寄附金で行うのはいかがなものかと感じます。頂いた寄附金で賄うよりも、市独自の財源で行う方が、明治以降、国や地域のために戦い、また戦争に巻き込まれて亡くなった方々の御霊に対し、満腔の敬意を表するに値するのではないのでしょうか。寄附者の方々にも、どのような説明をするのでしょうか。議会からの忠告を退けた市の今後の対応を、これからも注

意深く見つめて参ります。

1. 奄美市 新年度 予算

一般会計は歳入・歳出ともに、奄美市誕生後最大となる約338億円です。前年度との比較をしながら、新年度の特徴をチェックしてみましよう。

【歳出】

扶助費《福祉》93億円(前年度比1.3%増)、人件費44億円(同2.0%減)、公債費《借金の返済》42億円(同2.6%増)、普通建設事業費《公共事業》70億円(同40%増)など。名瀬本庁舎や学校給食センター等の大型建設事業により、約20億円増加しています。

【目玉事業】

予算規模の大きな主な目玉事業は、

- ・名瀬本庁舎建設事業30億円
- ・名瀬・住用地区学校給食センター建設事業8.8億円
- ・朝日地区簡易水道区域拡張事業5.5億円
- ・赤木名地区特定環境保全下水道整備事業3.1億円
- ・笠利町東部地区簡易水道再編推進事業2.7億円
- ・住用地区道路冠水対策事業(排水機場整備) 2.5億円
- ・光プロードバンド整備負担金2.1億円
- ・地と知の交流拠点施設(安勝町)整備事業1.5億円
- ・名瀬大浜総合整備事業1.3億円
- ・市民交流センター(名瀬公民館代替施設)整備事業1.1億円
- ・奄美博物館リニューアル事業1億円
- ・国民健康保険事業特別会計への財源補てん分2.5億円 など

【歳入】

市税37億円(前年度比1.4%増)、基金繰入金13億円(同81%増)、市債61億円(同32%増)、地方交付税117億円(同1.2%減)、国庫支出金64億円(同4.2%減)、県支出金19億円(同3.5%増)など。市税が5千万円増加、また、ふるさと納税寄附金も1億円増加の2億円を見込んでいます。

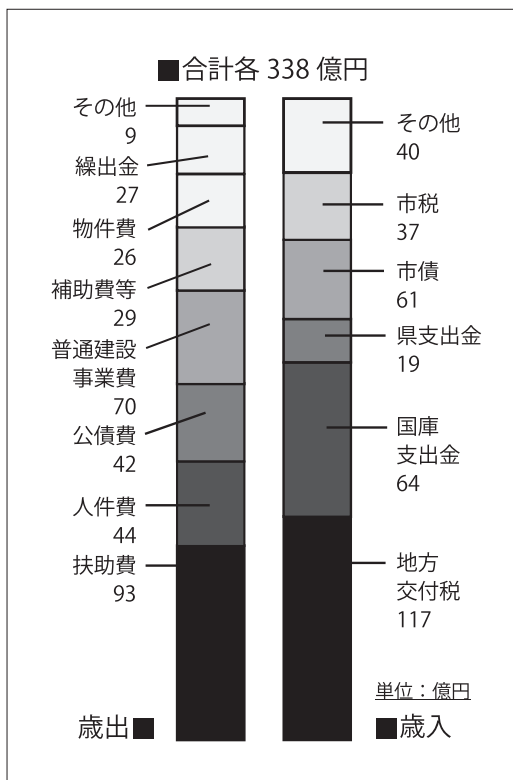
【借金総額】

30年度末の奄美市の借金総額(一般・特別会計等含む)は前年度当初予算時より29億円増の571億円となる見込みで、合併時の561億円を上回るようになります。発行期限のある合併特例債等を活用した、財政計画に基づく積極的投資によるためですが、市民一人当たり借金額は依然として県内トップレベルです。で、議会としてのチェックが欠かせません。

【新規・拡充事業】

30年度は次のような新規・拡充事業が始まります!

- ・子ども医療費助成事業(助成対象を中学生まで拡充、また、非課税世帯未就学児医療費の窓口負担をなくす)
- ・教育のIT化整備事業(小中学校全ての普通教室に電子黒板を配備)
- ・母子歯科保健強化事業(妊娠期の歯科検診受診費を助成等)
- ・経営改善普及事業奨励補助金(商工会等による経営改善普及事業の促進)
- ・キャリアアップ助成金事業(島外での資格取得費用の助成)
- ・笠利消防分署に水上バイク配備
- ・世界自然遺産唄島プロジェクト
- ・公園のトイレ(和式↓洋式)改修事業
- ・笠利地区元気・やる気・本気未来創造事業
- ・日本復帰継承事業
- ・奄美歴史浪漫探訪「幕末・明治」推進事業
- ・小湊フワガネク遺跡保存活用計画策定事業 など



**奄美市議会、ただいま
活性化中!**

①議員定数を
2名削減!
②「政策立案
推進会議」を
設置!

■コラム

今年1月から3月にかけて、「議
会改革」といえる大きな決定や前
進がありました。そのことについ
てご報告いたします。

**① 議員定数を2名削減!
(24↓22名に!)**

昨年の6月定例会で「議員定数
等調査特別委員会」を設置し、議
長を除く23名で9月より議論をし
てきた本件。12月から1カ月間
行ったパブリックコメント(パブ
コメ)の結果は、「現状維持」と
いう議会素案に対して「削減すべ
し」という意見が26件中24件と9
割以上に達しました。それを踏ま

えて再検討したところ、最終的に
「2名削減」ということに決定し
ました。私は当初より、2名削減

う。その意味でも市民の皆様に関
謝しております。

を主張していましたが、実現で
きてほっとしましたが、その根拠

**② 「政策立案推進会議」を
設置します!**

としては、県内および九州各県内
と同規模人口の自治体議会の平均定
数は「22名」であること、また2
名減になっても議会活動の実質は
大きく変わらないこと(一般質問
枠は最大20名まで、常任委員会の
採決も最少4名以上の賛同が必要
など)、そして市民に最も身近な

そうはいつても、ただ議員の数を
減らすだけでは、議会の力は弱
まってしまいます。先進的な自治
体議会では、定数削減を議会活性
化のテコにしていますが、その代
表的な取り組みが、今般奄美市議
会でも設置の方向で進めている
「政策立案推進会議」です。これは、
議会という機関として、全会一致
での政策提言を市長宛てに行くと
ともに、必要に応じて政策条例の
制定・改正を視野に入れた活動を
もする取り組みです。このような
仕組みを導入することで、議会と
して、議員として、政策立案能力
が磨かれ、ひいては市民の皆様
のお役に立つことができると考え
ています。この会議、30年度から動
き出す予定です。議会改革・活性
化への挑戦はまだまだ続いていき
ます!

こと、などです。今回、市民の皆
様から頂いたご意見(パブコメ)
を受けて、議会が素案と異なる判
断をしたという経験は、奄美市の
民主主義の向上のためにも大き
かったと感じています。昨今、民
主的な意思決定手法として行政も
多用するパブコメについて、市民
の代表機関たる議会が模範となる
対応のあり方を示すことができま
したので、今後も行政に対して強
く意見を申すことができるでしょ

**そうへいからの
お知らせ**



- お困りごとや奄美市へのご要望等ありま
したらお寄せください!皆様のお声が、私
たち議員の活動の源になります。
- 本チラシの「配布ボランティア」を募集
しております!現在、約9千世帯に配布。
目標は全世帯! への道遠し..

●しーまブログ、ツイッター、フェイスブック
でも活動情報発信中です!

よろしくお祈いします!



連絡先: 奄美市名瀬小俣町 29-32
携帯電話: 090-3546-7031
※留守電の時はご用件を入れてください。
Eメール: sohei@mskj.or.jp